

益田市の主要課題(案)

-----社会潮流-----

- 5. 地方創生の推進**
 - 地方創生の推進により求められる人口減少や東京一極集中の是正
 - 「持続可能な開発目標 (SDGs)」の実現を踏まえたまちづくりの実施
- 1. 人口減少・高齢化の進行**
 - 人口減少の進行と後期高齢者の大幅増加
 - 出生数の減少、依然として低い合計特殊出生率
 - 未婚化・晩婚化に伴う晩産化の進行
- 2. 産業の変化・革新**
 - 就業者数の増加、日本経済の緩やかな改善
 - 外国人労働者の増加
 - 訪日外国人旅行者の増加
 - ICT (IoT や AI 等の情報通信技術) の進展
- 3. 歴史・文化資源を活かした地域活性化**
 - 「日本遺産」による地域の文化財を活用した地域活性化の推進
- 4. 求められる安心・快適な都市づくり**
 - 空き家の増加
 - インフラ・公共施設の老朽化
 - 今後も見込まれる短期的強雨の増加
 - 求められるハード・ソフト両面からの防災対策・国土保全
 - スマートシティ型まちづくりによる、都市の機能やサービスの効率化・高度化

-----益田市の地域特性-----

- 現状分析-----
- ①人口の状況**
 - 自然減、社会減による人口減少。自然減は年々拡大している。
 - 人口減少は続くことが予測されており、年少人口、生産年齢人口割合は低下し、老年人口割合は上昇する。
 - ②教育・子育ての状況**
 - 合計特殊出生率は高水準だが、出生数(自然増)は減少傾向
 - 児童・生徒数の減少により、学校再編が行われ、学校数も減少している。
 - 育児休暇の取得率上昇や女性の就業率向上など、子育て環境の改善。
 - ③文化・産業の状況**
 - 【産業】**
 - 就業者数は特に1次産業、2次産業において減少傾向にある。
 - 後継者不足や経営者の高齢化による事業の廃業増加が懸念される。
 - 年間商品販売額や製造品出荷額は横ばい傾向にある。
 - 農業、医療・福祉、教育学習支援、卸売業・小売業について産業は特化している。
 - 特に卸売業・小売業は事業所数、売上高ともに他産業より高い。
 - 農業、漁業は就業者の半数以上が60歳以上となっている。
 - 観光客数は横ばい傾向。外国人観光客は増加傾向。
 - 【文化】**
 - 豊富な文化財資源を有しており、石見地方9市町で申請した石見神楽のストーリーが日本遺産の認定を受けている。
 - 益田市の申請した中世益田に関するストーリーが日本遺産の認定を受けている。
 - 音楽・舞踊、美術等に関する市民活動が活発。
 - ④生活環境・防災・都市基盤の状況**
 - 【生活環境】**
 - 路線バス、乗合タクシーの利用者は減少傾向。生活バスは横ばい。
 - 空家数は増加傾向にあり、狭隘道路も多く存在するため、解消に向けた整備に取り組む必要がある。
 - 汚水処理人口普及率は県内でも低い水準であり、上水道は、安定供給が図れるよう、設備更新を適切に行っていく必要がある。
 - 川、海域の水環境については概ね環境基準を満たしており、今後も良好な水環境を維持していく必要がある。
 - 高津川が令和元年の水質調査で「水質日本一」となった。
 - ごみ処理は、更なる排出抑制・再資源化を進めていくことが必要。
 - 犯罪・交通事故は減少傾向。
 - 【防災】**
 - 自主防災組織率は41.9%であり、県内でも低い水準である。
 - 【都市基盤】**
 - 都市計画道路改良率は76.8%。
 - 土地区画整理事業により複合的都市機能を有する拠点形成を進める。
 - 都市公園等施設緑地は、必要な緑地の確保目標量を満たしている。
 - 賃貸や売却等、活用の予定がないまま放置されている空家が増加。
 - ⑤保健・医療・福祉の状況**
 - 要支援・要介護認定者数が増加していくが見込まれる。
 - 病院勤務医師数は概ね横ばいで推移している。
 - 開業医は高齢化などにより減少傾向にある。
 - ⑥市民協働・コミュニティ・行財政の状況**
 - 【市民協働・コミュニティ】**
 - 市内20地区のうち15地区で地域自治組織が設立されている(R2.2.12現在)。
 - 【行財政】**
 - 社会保障関係経費の増加、災害への対応、公共施設の更新など、厳しい状況が見込まれる。

赤：問題点、青：良いところ

- アンケート調査結果から-----
- (1)移住定住に関する市民意向**
 - 5割以上が「大学進学」「希望する仕事がない」「日常生活が不便」という理由で転出を希望。
 - 「U・Iターン支援」についてニーズが強い。
 - (2)教育に関する市民意向**
 - 「学力向上や教育環境整備」に関するニーズが強い。
 - (3)福祉に関する市民意向**
 - 益田市は高齢者や障がい者にやさしいと評価されている。
 - 特に、市中心部では「高齢者や障がい者が安心して生活できる環境づくり」への期待が高い。
 - (4)医療に関する市民意向**
 - 「医療環境の利便性や充実」への不満が強い。
 - 年齢別にみると、40歳～50歳では「地域医療の確保」への期待が高い。
 - (5)生活文化に関する意向**
 - 「スポーツ交流や文化振興」に関する施策が市の強みとなっている。
 - (6)産業に関する市民意向**
 - 「地元就職の促進」のニーズが強く、希望する仕事とのマッチングがうまくいっていない。
 - 「農林水産業の振興」のニーズが強い。
 - 観光に関する評価が低い
 - 年齢別にみると、60歳以上では医療福祉及び産業振興に関する施策への期待が他の施策よりも高い
 - (7)都市環境に関する市民意向**
 - 「道路網・道路環境整備」「商業拠点維持」「娯楽施設の充実」に関するニーズや、「公共交通の利便性」に関する不満が強い。
 - 「日常生活が不便」という不満が強い。
 - 年齢別にみると、～39歳、60歳～69歳、70歳～では「道路の改良整備」への期待が高い。都市基盤整備に関する施策への期待は、～39歳で他の施策より高く、60歳以上で低い。
 - (8)生活環境に関する市民意向**
 - 風土や気候、自然環境、治安の良さなどが良いところとして挙げられている。
 - 「空家の利用促進」や「地域・集落の維持」に関するニーズが強い。
 - (9)市民協働に関する市民意向**
 - 「健康づくり」や「ブランド推進」「環境保全」に市民が良く取り組んでいる。
 - 中山間地域では「地域・集落の維持」に関するニーズが強い。
 - 「地域の課題は行政と地域一緒に解決すべき」とする意向が強い。
 - (10)行財政に関する市民意向**
 - 「職員人材育成・健全な市政運営」のニーズが強い。

橙：共通、紫：市民、緑：高校生

-----益田市の主要課題-----

- ヒアリング調査結果から-----
- I.健康・教育・子育て・文化**
 - 市民自ら健康に対する意識が必要。
 - 地元食材を積極的に使用している。
 - 地域の人が見守り活動を行っている。
 - 文化を担い若者へのサポートが必要。
 - 小さな福祉活動として里山保育を実施。
 - 子どもを産みやすいような環境づくりが必要。
 - II.産業**
 - 事業の後継者がいない。若手不足。
 - 近年、地元に残る高校生が増加。
 - 明確な方向性と意思を持ったブランディングが必要。
 - 新規事業を支援する仕組みづくりが必要。
 - 周辺自治体と比較してハングリー精神のある個人経営者が多いと感じる。
 - 企業が考えるアイデアを試せる場所が必要。
 - III.観光・情報発信**
 - 観光農園として市外から多数の来客がある
 - 関係人口の受け入れ体制づくりが必要。
 - 情報発信強化及び情報拠点整備が必要。
 - 宿泊施設及び集客施設が少ない。
 - IV.交通・自然生活環境**
 - 交通対策が課題。例えば通学バスと買い物バスの連携など地域で協力して解決していく必要がある。
 - 移住定住に繋げるための市営住宅等の規定見直し、空き家+農地のパッケージ化などができないか。
 - 自然が豊かで食べ物おいしい。
 - V.価値観の変化**
 - コロナウイルス等の影響による田舎に対する価値観の変化(益田市が選択肢として挙げられるようになる)。
 - VI.市民協働**
 - ホスピタリティが良く、外部人材の受け入れやすい気質がある。
 - 課題に対応できるだけの一体感が無い(意識醸成が足りない)。
 - 個々の活動が点となっている。
 - 行政は中立の立場として団体同士が線で繋がるような支援が必要。
 - VII.行財政運営**
 - 行政に感謝し応援する機運の醸成が必要。
 - 事業の継続的な取り組みや検証が必要
 - 行政として施策を動かすための方向性やビジョンが足りない。
 - 分野横断的な考え方が必要
 - 行政と民間の役割分担及び連携が必要。

赤：問題点、青：良いところ、橙：課題

[健康、医療、子育て] **誰もが健康で安心して生活できる環境が必要**

[教育・歴史・文化] **益田市を担うひとを育て、歴史・文化を継承していくことが必要**

[産業] **地域資源を活かした魅力的な産業の創出・育成が必要**

[交通・都市環境] **安全で便利に暮らせる都市環境の創出が必要**

[生活環境・自然環境] **豊かな自然や風土の中で、快適に暮らせる住環境創出が必要**

[市民協働] **市民や地域の活躍を支えていく環境づくりが必要**

[行財政運営] **効率的・効果的な行財政運営が必要**

※詳細は次頁参照

-----益田市の主要課題-----

[健康、医療、子育て]

誰もが健康で安心して生活できる環境が必要

- ✓ 地域全体で健康づくりを支援する環境の整備
- ✓ 安定した医療提供体制の維持・継続
- ✓ 地域福祉の充実による、高齢者や障がい者等にやさしい環境整備
- ✓ 子育てがしやすい環境の整備

[教育・歴史・文化]

益田市を担うひとを育て、歴史・文化を継承していくことが必要

- ✓ 学力育成を目指した、よりよい学習環境の整備・人材育成
- ✓ 益田市を担うひとの育成に向けた、ふるさと教育の推進
- ✓ 益田市が誇る歴史や文化の保存・活用

[産業]

地域資源を活かした魅力的な産業の創出・育成が必要

- ✓ 既存企業の育成や魅力的な新産業の創出
- ✓ 地域資源の魅力を向上させるための地域ブランド化の推進
- ✓ 空港などの都市基盤や歴史・文化資源などを活かした観光振興

[交通・都市環境]

安全で便利に暮らせる都市環境の創出が必要

- ✓ 道路網・道路環境の整備による交通利便性の強化
- ✓ 区画整理等による便利で魅力的な市街地の整備、まちなみの形成
- ✓ 日常生活に必要な公共交通の維持・確保

[生活環境・自然環境]

豊かな自然や風土の中で、快適に暮らせる住環境創出が必要

- ✓ 公園や上下水道など、快適に生活できる環境基盤の整備
- ✓ 高津川や森林資源などの自然環境の保全
- ✓ リサイクルや省エネルギー行動などの環境配慮の推進
- ✓ 地域内での資源循環システムの構築

[市民協働]

市民や地域の活躍を支えていく環境づくりが必要

- ✓ 地域自治組織の運営支援による、集落機能の維持
- ✓ 市民による取組や、協働の取組による魅力的なまちづくりの推進
- ✓ 自主防災体制の整備・強化
- ✓ 空家を利活用したU・Iターンの推進

[行財政運営]

効率的・効果的な行財政運営が必要

- ✓ 効果的で健全な財政運営の実施
- ✓ 職員の人材育成・資質向上